

第1回子育て文化審議会での主な意見とプラン（素案）との対比

区分	主な意見	プランでの関係箇所
子育て支援	<p>①放課後児童クラブについて、質の高い保育・教育を確保するために、1人多めにつけるぐらいにしてほしい</p> <p>②保育・教育体制について、人の支援（充実）を計画に盛り込むべき</p> <p>③業界や業種の特性を生かした保育等の拡充が必要</p> <p>④保育者というものは、専門性をもって仕事に当たるものであるという社会認識を高めることが必要。専門職として仕事にできるような体制の確立が必要</p>	<p>①②Ⅲ、2（3）、第5章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新・放課後子ども総合プラン」に基づく人材の確保、質の向上 ・第5章教育・保育の量の見込みと確保方策 <p>③Ⅲ、2（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の事情に応じた子育て支援サービスの充実 <p>④Ⅲ、2（1）、V</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士等の処遇改善、キャリアパスを見据えた研修実施による保育人材の育成 ・社会全体での「子ども・子育て応援」の気運醸成
両立支援	<p>①男性の家事・育児の推進が必要</p> <p>②お父さんの意識改革、祖父母世代の意識改革が必要</p> <p>③女性の活躍を促進するためには、子育ての段階で、お父さんや他の世代が協力して育児を行うための相談窓口を充実してほしい</p> <p>④育児等で一旦職を離れた方の再就職の促進に向けた待遇の改善・対応の改善が必要</p> <p>⑤子育てをしたい、早く帰りたいという親に対して、短時間勤務制度などを整え、また、円滑に職場復帰できる環境整備が必要</p> <p>⑥ワークシェアリングを進め、働き方の選択肢を増やすと良い</p>	<p>①②③Ⅳ、2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の意識改革 ・やまぐちイクメン維新の推進（「お父さんの育児手帳」） ・新婚夫婦や若手社員への啓発（「家事から始まる男女共同参画手帳」の配布等） <p>④Ⅳ、1（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再就職支援（山口しごとセンター） ・女性が働きやすい職場環境づくり、ハラスメント対策 <p>⑤⑥Ⅳ、1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方の推進（育児休業、短時間勤務、短時間正社員制度、フレックスタイム制、テレワーク等の企業への導入促進）

<p>社会全体</p>	<p>①どこの学校でも、中学生・高校生と乳幼児が関わりを持てるような環境づくりが必要 ②家庭内で足りないところを、地域や他の人たちが補っていくバランスの取れた地域づくりが必要 ③みんなができることを担っていくということが大事 ④子育て支援の情報を共有するためにも、支援者同士のつながりを作るコーディネーターの活動が必要 ⑤子育て応援パスポートがどれだけ周知されているのかなど、県の施策の周知が必要 ⑥いろいろなところで割引クーポンがあるので子育て応援パスポートを使おうとは思わないという意見もある。制度や事業もリニューアルしていくことが必要 ⑦子育て支援拠点にシニアの方にも来てほしいが、マッチングのためにも、つながりを密にすることが必要</p>	<p>①Ⅳ、2(2) ・「子育てひろば」の取組、ライフプランニング教育 ②③Ⅲ5(2)Ⅴ、2 ・学校・家庭・地域の連携 ・多様な担い手による子育て支援 ④Ⅴ、2(2) ・県民運動地域コーディネーター等のネットワーク強化 ⑤⑥Ⅴ、1(2)、Ⅴ、2(2) ・企業による子育て支援の推進(パスポート事業への協賛事業所の拡大、子育て家庭への周知) ⑦Ⅴ、2(1) ・シニアや子育て経験者を活用する「子育てサポーター制度」の活用</p>
<p>居場所づくり</p>	<p>①子どもの居場所づくりについて、拠点を作って進めてほしい</p>	<p>①Ⅵ、3 ・学校、家庭に次ぐ第三の居場所となりうる「子ども食堂」の取組拡大</p>
<p>総論</p>	<p>①山口県が目指す子どもの姿を明確にし、どういう家庭、子どもたちを目指すのかという目標が必要 ②山口県のプランなので、山口だからできること、強調したいところのカラーを踏まえた上で、施策として出せていけるのが望ましい</p>	<p>①② 第3章 ・基本目標(「みんなで子育て応援山口県」の推進) ・目指す姿 (社会全体で支える意識の浸透、安心して結婚、妊娠・出産、子育てできる環境、子どもたちの健やかな成長) ・取組の方向(ライフステージに応じた切れ目ない支援などにより、子どもと子育てに理解ある社会の実現)</p>